



第 395 回 例 会 1967.3.28 (火) 曇後雨

例 会 場 鶴 岡 市 本 町 二 丁 目 ひ さ ご や (2) 0707・2838 番

事 務 所 鶴 岡 市 馬 場 町 十 日 町 口 商 工 会 議 所 内 (2) 5775 番

EBTTER WORLD
THROUGH ROTARY
(ロータリーでより良き世界を)

出席報告

本日の出席	会 員 数	57名
	出 席 数	42名
	出 席 率	73.68%
前回の出席	前回出席率	73.68%
	修正出席数	47名
	確定出席率	82.46%

メークアップ

沢田幸男君一仙台東RC
栗本安基君、五十嵐卓三君、工藤繁雄君
一鶴岡西RC

本間庄一君一村上RC
本間義勝君一酒田RC

ゲ ス ト

庄司繁太郎君

ソング

奉仕の理想 リーダー 笹原君

司 会

会長 早坂源四郎君

連絡事項

会長報告

- 三井賢治君の御母堂が去る18日逝去されました。謹んで哀悼の意を表すと共に御冥福をお祈り致します。
- 佐藤仁太郎君が去る1月以来湯河原の厚生年金病院で療養中でしたが、先般元気で帰宅されました。
- 五十嵐伊一郎君の御息が阿部公一君御夫妻の媒妁により、去る26日御結婚されました。おめでとうございます。
- アイリーンさんが兼子ガバナーの招きで郡山に行つて

おります。郡山、平、東京、鎌倉、江の島等約1週間旅行し31日帰鶴予定です。

国際社会奉仕所見 小花盛雄君

ロータリーの友3月号でご覧になったと思いますが姫路RCの佐伯さんの事が記載されました。お会いしたいと思ひまして電話致しました処、丁度、大阪に出られるとの事で大阪の新阪急ホテルでお会い出来ました。

古い会員であり、次年度のガバナーノミニーを引受けて居られる方です。『自分は世界社会奉仕活動を中心として活動しようと思ひ、この仕事を引受けた』と申して居りました。世界社会奉仕については非常に熱意のある方で専門は色素化学、当クラブの林君をよく御存知でした。佐伯さんは姫路、東京を始め海外ではボンベイ等数多くの工場を持って居り、海外には度々行つております。

去年R・Iから中小企業カウンセラーに任命されニューデリーに行き、色々と中小企業につき御指導なされたそうです。その後再度ニューデリーに行きその成果を調べたところ、今度はその土地のRC独自でカウンセラーを作り指導に当たっている処を拝見し、自分のやった仕事の成果を確認してきたそうです。

年3回はインドや欧州、アメリカに行かれるようで非常に視野の広い方で私共が指導を仰ぐには好都合の方と思われました。インドの貧富の差、疾病のこと食糧のことで何かやることはないかと色々と話し合いました。

以前にお話申し上げたことのある仙台RCの岩本正樹先生がインドの救済センターに行かれ献身されてましたが、今回こちら(藤沢)に帰って居られることを聞きましたので大阪に行く途中お訪ねし色々とインドの実状を聞いて参りました。

インドは非常に大きい国、そして階層或は種族の複雑な国であり、善意でやる援助でも充分検討し慎重にやらなければならないと貴重なアドバイスを受けて参りました。

結核についてはインド政府も積極的にやっけてはいるが、その方法は先進国の様にレントゲンを撮って必要あれば血液、喀痰を調べるのではなく咳をして痰の出る人を対照にし集めて、そこから結核菌の持っている者について治療を始めるというような原始的な方法であるという事でした。

従ってそれに対する応援の方法ですが、かつて日本で現在使用している様なレントゲン車で一部地域の集団検診をやったわけですが断層が出来ると思うインド政府からのクレームが来たそうです。

それから大阪の帰りに東京で結核予防会会長にも会って昨年秋開かれた東南アジア、西太平洋地域の各国専門家の会合の資料も戴いて参りました。

とにかくインドでは何んでも欲しいのですが、色々と国政により問題があるので顕微鏡の様な基本的なものは効果的でないかということでした。

話は又佐伯さんの話に戻しますが、政府間ベースでやっている海外技術協力団の海外青年協力隊が低開発国に派遣されているわけですが、これに協力する様な方法を考えてみたらどうかと云うことでした。例えばその応募に際して、身近かな処から推薦してやるとか或いは、派遣されている隊員を、現地で激励なり慰問をする方法、或いは、留守家族の慰問、隊員帰国後の職場あっせん等……自分の地区では考えて見たいと云って居られました。佐伯さんは、365地区のインター・シティ・ゼネラル（4月開催）の国際奉仕関係のモデレーターとしての考えのようです。

第2年度は、インドの食糧事情を考え、海外技術協力団が、現在インドの十個所に造っている農業開発指導センターに、青年隊を派遣し、指導に当らせているわけですが（鶴岡からも農大出身の牧野君がボンベイの近くのセンターで活動）インドでは、今、農業用水の不足が最大の問題のようですので、井戸を掘る事業に協力したいと申して居りました。

それには、地質調査とか、ボーリングとか、膨大な費用（約1億5千万位）がかかりますので、365地区だけでなく、各地区に協力を呼びかけるつもりと云ってました。

この遠大な計画には、私も深く感銘を受けて参りました。

委員会報告 社会奉仕委員会

去る27日 児童横断旗 500本

鶴岡市交通安全推進協議会に寄贈

卓話 九州に旅行して

三浦君

初めてのジェット機上（約8,000米）からは、天候に恵まれず、雲海だけで、殆んど視界がききませんでし

た。旅行中九州で最も記憶に残った点を二三申し上げたいと思います。

先ず、『長崎』ですが、原爆に関する色々な記念館や像等がありましたが、永井博士の被爆後住まわれた如己堂、1坪位でしょうか、ガイドの説明を聞き、全く胸の打たれる気持が致しました。

長崎からバスで40分、おみやげ店で用を足すため休憩しましたが、この店の『商魂』のたくましさには、全く驚ろきました。駐車設備も整ってましたが、バスから降りるなり、女店員がずらり10名位並びまして『いらっしゃいませ』……菓子（おこし）とお茶のサービスしてくれました。そこで皆んなたくさんのお土産を買ったようです。私共も見習うべき点ではないかと思って参りました。

次に『有明湾』の干拓は、相当昔からやっていたものと聞いてますが、以前は、熊本県営、最近では国営事業として、一区画800町歩~1,000町歩の、相当大規模のようです。この地方は、潮の干満が2米もありますので、提防を作り、最後にせきとめるという方法で、埋め立てではないようです。

それから雲仙に向かいましたが、途中の山の檜林を見私共はせいぜい20年~30年位のものと思いましたが、ガイドの話では、50年~60年は経ているとのこと、この地方の如何に土地がやせているかという事を知りました。

『雲仙』九州観光ホテルでは、山の中であり乍ら、御馳走も仲々珍しいものもあり、非常に美味しかったということです。地獄の噴煙はすばらしかったようです。

次に『天草五橋』ですが、水はきれいですが、景色は松島と大同小異……最も島の大きさは違います。橋は専門家がゆっくり見れば、確かに面白い橋と思われまます。五つとも全部構造が違っています。唯、私共はバスの中から見ましたので、その点非常に残念でした。

『熊本』では、40年振りの友人に会い、共に白髪を増えたのは事実ですが、直ぐわかりました。『水前寺公園』を見物、その造りが東海道五十三次をまねたもので富士山もあれば松林もある、仲々面白く拝見しました。

それから『阿蘇』に行きましたが、幸い天気に恵まれ山南ハイウエーのすばらしい景観をながめ乍ら別府につき、その晩の夜行で帰路につきました。

幹事報告 笹原桂一君

国際ロータリー加盟証認状伝達式

東根RC 4月21日（金）東根温泉 厚生会館

鱈ヶ沢RC 6月18日（日）西海小講堂

新役員通知 鷹巣RC、猪苗代RC

例会変更 新庄RC 3月24日 3,30

会報到着 本荘RC、寒河江RC、鹿児島西RC

スマイル

五十嵐伊一郎君 御子息の結婚
三浦君、鈴木（善）君、新穂君、池内君、早坂君

献立

えびフライ、サラダ、その他盛合せ カレーライス